

信書便事業者協会長の

伊東 博さん

昭和25年8月9日生まれ、62歳。44年都立戸山高卒、伊東商事入社。60年ベルシステム24入社、常務、専務などを経て、平成16年KDDIテレマーケティング（現・KDDIエポルバ）社長、25年1月信書便事業者協会長。

# この人



「十年でようやく認知されてきた気がするが、さらなる業界活性化と市場拡大には、もっと

と信書便を世に知らしめなければ」。平成十五年の信書便法施行で信書送達の民間参入が可能となり、特定信書便市場はいまや百億円に迫る勢いで成長。自治体や企業のコンプライアンス（法令順守）意識の高まりも背景にある。

配達担当者が郵便物やダイレクトメールを捨てる事件が起きるなど、「届ける側」の責任も問われる時代。「利用者からいかに大事なものを託されているか」という認識が事業者には不可欠

だ」

一月、一般社団法人に移行。「会員に特定信書便への理解を深めてもらい、社会への周知活動、行政に対し「こうしてほしい」という働き掛けも強める」。「会員第一」を掲げ、活動にも拍車がかかる。

特定信書便事業者の約八割は貨物運送事業者。協会も貨物運送の会員が多くを占める。「信書を安全・安心に送達することは、他の荷物もきちんと運べるという「信頼性」をアピールする材料になる。事業許可を持つ

## もっと信書便を世に

ことが荷主の業者選びのポイントになるよう、プラスに働くような取り組みをしていかなければ」

近年、インターネットやスマートフォン（高機能携帯電話）の普及で、コミュニケーションの在り方は激変。デジタル化が進む一方、「アナログ回帰」の流れもある。信書も見直されるはず」と今後の特定信書便市場の商機を見込む。

「業界団体として秩序を持って、全体が発展することを考えていきたい」。健全な業界づくりとともに、会員各社が特定信書便サービスを積極化できる環境づくりにまい進する。

（水谷 周平）